ハローワーク大野 就職支援業務報告（令和４年度）

１ 所長による分析（業務運営の総括）

（１）特に重点的に取り組んだ事項

①　各指標に対する取組

当所では主要指標（就職件数、充足件数、雇用保険受給者の早期再就職件数）について、次のとおり重点的に取り組みました。

○ 就職件数

毎日、13 時から行う求人、紹介担当の全員が参加する部門内ミーティングにおいて、求人の補足情報や求人票には表れない情報を共有しマッチング業務に活用しました。

また、求職者担当者制により求職者の課題に寄り添った個別支援を実施するとともに、求人者へ紹介する際、事前に事業所見学を実施することにより、求人者・求職者双方にメリットがある適格な紹介を行うことができました。

○ 充足件数

求人充足会議を定期的に開催し、求人充足に向けた方策の検討を行うとともに、充足の可能性を高める求人条件等の見直しや求人票記載内容の充実の提案を行いました。

○ 雇用保険受給者の早期再就職件数

雇用保険受給者に対しては、ハローワークの支援メニューを説明するとともに、認定日に合わせて事前にマッチングした求人情報を提供する等早期再就職を促進しました。

②　中長期的な職員の資質向上に向けた取組

中長期的な職員の資質の向上を図るため、職業相談に係るロールプレイングや雇用保険制度、各種助成金制度及び個人情報保護等に関する研修等、業務に必要不可欠な事項について計画的に研修を実施しました。

また、日々窓口で起こっている小さな事象を逃さず、適宜、ＯＪＴを中心とした即効性のある研修を行いました。

（２） サービス改善・業務改善を図った事項

他のハローワークでの求職者の求人検索の利便性を向上させる取り組みを取り入れ、ハローワークの利用促進を図るとともに、求人者から求職者へ直接仕事内容の説明等ができる場を設け、求職者には求人担当者からの生の声が聞ける場として、個別の「会社説明会」を積極的に実施しました。

（３） 今年度見えてきた課題とそれを踏まえた今後のサービス・業務改善の取組について

新規求人数が新規求職者数を上回る状況の中、求人件数及び充足率をアップさせるため、求人者に有効なサービスを如何に提案できるかが課題となっています。そこで、求職者ニーズに近づくような求人内容見直しの提案や「会社説明会」及び「事業所見学」を、積極的に実施していきます。

（４） その他業務運営についての分析等

当所が管轄する大野市、勝山市は総務省の過疎地域に指定される等人口の減少・高齢化が急速に進んでおり、令和４年度の新規求職者の約３割が 60 歳以上の者である一方、求人者側は依然として 40 代までの求職者を希望していることが多く、年齢のミスマッチが続いています。両市とも移住・定住策により若い人を呼び込もうとしていますが、即効性がないため、当所としては、求職者に労働市場の状況と自己の能力に対する理解の促進を図りながら就業ニーズに合った就職支援を行い、求人者には求職者の年齢分布を説明しながら高齢者に合った短時間勤務の求人の提案等を行い、高齢者の就職支援サービスを実施していきます。

２ 総合評価（※）

良好な成果

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

３ マッチング関係業務の成果（主なもの）

	就職件数	充足数（受理地）	雇用保険受給者早期再就職件数	満足度（求人者）	満足度（求職者）	正社員に結びついた就職氷河期世代の件数	生活保護受給者等の就職率		
令和4年度実績	1,075	862	271	96.0	97.9	83	100.0		
令和4年度目標	1,025	846	230	90.0	90.0	68	63.3		
目標達成率	104%	101%	117%	－	－	122%	157%		

※ 就職件数は「(従来の）紹介就職」及び「オンライン紹介による就職」の合計件数、充足数は「(従来の）紹介就職」、「オンライン紹介による就職」及び「オンライン自主応募による就職」によるハローワーク求人の充足数の合計となっている。

※ 「目標達成率」は、年度当初に設定した目標値に対する達成率